

No. 0055

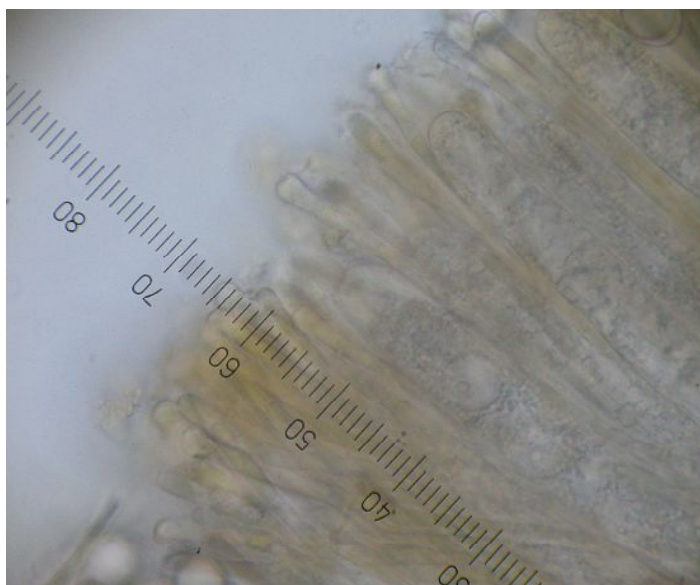
ウラスジチャワンタケ

Helvella acetabulum (L.) Quéf.





子嚢胞子



側糸

- 子嚢果は柄があり、皿形で縁は反り返り内に巻く。
- 皿の大きさは 7.5cm;表面は凸凹しており、黄土褐色～淡焦茶色、白色の粉状のものが付着する;裏面は表面とほぼ同色～淡く、また、柄の付け根付近では白色、不規則でしわ状となる横筋と、縦筋があり、分枝する隆起した縦筋はそのまま柄となる。
- 柄は 5×2cm, 上下同径であるが隆起した筋が集合した形であり、白色～淡褐色でときにしみ状となり、基部では菌糸があり白色。
- 肉は白色～透明感のある白色、特別な味はなく、錆臭いような匂いがする。

採集日 2010年5月4日
 採集場所 兵庫県加東市
 採集環境 広葉樹下の落葉が堆積する地上
 採集者 幸徳伸也
 同定者 幸徳伸也
 標本番号 KS0036